

# 磐城時報

日刊 五廿夕  
編輯者 石城郡平町新屋町十四  
印刷者 石城郡平町新屋町十四  
發行所 石城郡平町新屋町十四  
電話 二三四番  
郵便 第一四三號  
代金 一月三圓 三月九圓 半年一五圓 一年二八圓  
廣告料 一行一圓 一月三圓 三月九圓 半年一五圓 一年二八圓  
日刊（日曜、祭日）休刊

## 現役兵の留守宅に 軍人分會員の援助

### 鹿島村の美舉

石城郡鹿島村分會にては同村出身若松市歩兵第二十九聯隊第六中隊遠藤喜助君の留守宅が頗る手不足にて田地耕作に難澁してゐるのに同情し分會長江尻稔氏以後役員、班長等十一名が七月五日以來出動して田畑の耕作を補助してゐる。この情報が福島聯隊區司令部から聯隊を通じて善助君に傳へられたので同君は分會員の好意に對し立派に御上に御奉公して其の恩に報ひたいと涙ながらに感謝してゐると。

## 全く絶望となつた 川内、木戸間の軌道

### 事業繼承につき營林署長談

双葉郡木戸村双葉軌道株式會社の木戸、川内間の軌道敷設計劃は數ヶ年を経過するも遅々として進捗せず、實現を危ぶまれてゐるが去る十日同工事を中止することとなり全く絶望となつた、しかるに地方民は同社が解散したならば營林署で同事業を繼承して開通する筈だらうと期待してゐる、右につき大堀浪江營林署長は記者に語る。

## 四倉藪市場

四倉藪市場 二十四日取引は百二十八口、六百六十一貫七百二十文、四千六百一十一圓二十二錢で最高七十九圓、最低五十二圓、平均六十九圓七十錢。

## 四倉校運動會

四倉小學校秋季運動會は二十四日小學校庭で舉行午前八時馬場校長の開會の辭あり競技にうつり本社の贈のメダルは高二の二分間競技に對し左の二名の優勝者に贈つた。

## 清世界 二車注文

清 水屋 好評  
小名濱町清水屋小野晋平氏醸造の清世界は地方優良酒として好評を博してゐるが、今回富山市と名古屋市の鐵道工事を請負つてゐる飛鳥組では従業員千余名に御大典當日饗應するため清世界二車（四斗樽九十六本）の注文があつた。

## 桶職に化け 地方を荒す

東白川郡常磐村大字上遊井字中岡生れ當時住所不定桶職藤田藤吉(三三)は桶職の風を装ひ各町村を廻り歩き留守宅を見て窃盜を働いてゐたが、二十四日午後三時頃小名濱町浄光寺内に忍び入り唐金製常夜燈と龍燈二ヶ燈を盗み取つた、其の後同郡高久村木田の格十圓を窃取した處を捕はれた。

## 力進社問題 世間はウルサイ

大陽の黒点の關係でもあるまいが、最近、力進社問題に就いて俺の名がチヨイ、チヨイ新聞紙上に見ゆる様だ、一面から見るにホムられて居る様でもあり、ケナされて居る様でもあり、クスグツたサ限りなしだ、……が然し、世間の口には戸がたてられぬと云ひ條鈴木默鐘君の公開状力進社問題には中野甲藏氏が材料を提示し、俺がそれを鈴木君に提示するんだと云つて居る人があつた、……コイツア明しを立てねばなるまいチ!

## 放火女の公判 美人と多情の仇で 小説のやうな運命に弄ばる

石城郡飯野村大字北白土伊吉藤庭に破風が絶へず遂に家出し各松の養妹放火前科一犯伊藤カネ地を放浪してゐる中秋田縣で放火(二六)にかゝる放火事件は福島の罪を犯し懲役六ヶ年に處せられた。島地方裁判所支所に於て審理してしまつた、一度罪人となつたこの處此の程豫審が終結するに彼女が娼妓となつて東京、横濱方面の遊廓に働いてゐたが身事になつた、彼女は数奇な運命体が段々衰弱して苦界の勤めが苦になつた、彼女が放火の罪を困難になつたので郷里に歸り植木職軍司某と内縁關係をむすび再び重なるに至つたものである。カネオは十六歳の時吉松と結婚したが多情な妻の夫として關係を結んで同棲し二人の間にの悲哀を感じた軍司はカネオを子を取つたが、多情な彼女は捨て、家出してしまつたので最平町に與行に來た俳優の某に血初は夫であつたが今は別に妻を娶つた、今度吉松の縁に歸つて來たのは本年二月であつた、然し昔のある事と多情な事が身の破滅を關する銀行は極力應援もし後援もしなかりアならぬものだとの信念を有し、其所信を發表した事さいあつた。又、實際問題として、野崎君が營林の内容を總會の席上に於て質問しようとした際、當時警銀に大した好意を持つて居るなかつた俺が、誰にも依頼を受けなかつたが野崎君と折衝した事さいあつた、これも地方財界の爲めと云ふに過ぎなかつた、そうした俺が、恩こそあれ何の恨のない平銀を俺が裏面に居つて攻撃をなけりアならぬ道理が無い筈ぢやないか、殊に俺と平銀側との關係から云つても、平銀の爲めに幾分なりと盡力らしい事はするであらうが、弓を引く

マルトモ柴田書店  
平町四丁目  
電話二三四番  
具繪彩水グンキ  
具繪彩水一ビシヒ

様な事は俺の良心に對して出來ない。以前默鐘君が營銀攻撃中にも、俺が尻押だと云はれた事があつたが、其當時の俺と營銀とのツキ合から云つて、そう云ふ人もあるだらうと氣にも止めなかつたが、今度も俺が尻押だと云ふ事があつて居つたこと云ふ事が真であれば、其人は盲人か腦がスリ切つて居る人の話であらうが、何にしても世間はウルサイ……こふした辯明的な事も書き度くはないが、余りに莫迦らしい話が直譯的に誤解されては理に合はぬから書いて迄サ!!  
俺の新聞で、野崎君、鈴木君と各方面から力進社問題に就いて書いたから、此問題は最後に俺が書いて打ち切ります。

### 東京の泥棒 平で捕はる

吉田新聞店を荒す  
栃木縣芳賀郡清原村板戸生れ、窃盗前科五犯黒崎義房(三三)は東京相生警察署に於て検挙されたもので、同人は去る七月六日夜、平町白銀町吉田新聞店から現金百圓、其他を窃取した外、平町に於て数件の窃盗を働いてゐたのを、平署に逮捕され、東京警視廳に引渡した。

### 大野校活動寫眞

城郡大野村消防組にては此程、御大典記念事業の割當金三百圓の一部に充てるため、廿七日より二日間、大野小學校に於て活動寫眞會を開くと。

### 逃走少年

湯本で捕はる  
石城郡湯本町辰の口不良少年、吉田政夫(一七假名)は本月初旬、平署に検束された際、便所から逃走したまゝ、行衛をくらましてゐた。

### 厳正なる各位の御觀察に訴ふ(二)

以上は場長が組合長及組合會攻撃の言であるが、少くとも冷静にして熱慮すれば、場長自身も抑も無能にして、團體存立の上に指導者たる資格を欠くものである事が判るのであります。

(一)と(三)以上其理由を述べ、場長は既往縣組合組織前編島染業組合と染物研究會と二派に分立對抗し、反目してゐるのを、場長は之れを纏める能はず、殊に場長の陛下なる信、遠、福島方面にこの争ひを目撃されるが之れを以て他

が二十三日夜自宅附近に歸つた所を平署員に逮捕された。同人は平署を逃出して、から自宅に戻つたが、親連に叱られたので、自宅を飛び出し、好間村方面で食物やその他手當り次第盗みをして、逃げたが、同人は今日に至るまで、數回に亘り平署に検挙され、その都度、嚴重なる説諭を受けてゐたのであるが、改心の情更になく、引續き悪事を働いて居り、平署でも同人の盜癖にはあきれ返つてゐる。

鳥御料理  
蒲燒  
平町南町平館隣り  
電話四二四番

ハガキ集  
三丁目の若旦那さん、二葉家の小さい妓を○○○○したの、は好きが料金拂はないさうではありませぬか(見張り生)

草野 七五三之助  
人の責任とし組合長其他を怠慢となし無能呼ばりをすることは要するに場長の實録の足らざる結果に外ならぬ。場長が不親切にして誠意のない事を露したものである。

腸胃  
専門  
皮膚病  
院病村松

高久病院  
内科・外科・耳鼻  
咽喉科・花柳病科  
院長 高久忠  
平町 電話一三五

平町紺屋町  
吉田眼科院  
電話六八番

### 磐城病院改稱 市原病院

平町田町(電話二四番)

内科、小兒科 市原 卯太郎  
外科一般、婦人科 市原 陸郎  
花柳病科 市原 三三男

セメント  
壁用材料  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目  
電話三番

### 夏の飲料

◆サッポロビール◆  
◆金線サイター◆  
◆純粕取燒酎◆(空瓶交換)  
御注文次第直ちに配達いたします

平町四丁目平驛通り  
永山酒造店出張販賣所  
電話二〇七番

### 外科新設

内臓外科  
一般外科  
平町新川町  
木村新川町  
院長 木村寅次郎  
電話一六四番

### 藤沼醫院

内科、小兒科 入院應需  
花柳病科

平町紺屋町  
電話平五〇七番

### 釜屋商店

和洋銅鐵  
金物問屋

磐城平 電話一九三九番

### 汽車印片腦油

優良なる  
殺菌防臭の効絶大なり

代理店 關内藥局  
平町四丁目(電話四〇番)

### 油と味噌

山崎合名會社  
東京支店

上野車坂四三三  
電話(營業部専用)一〇七番  
電話(一般用)二七番  
振替東京一九七五五番